



# 豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

[平成28年7月19日 大阪府がん診療連携協議会 資料]



市立豊中病院

大阪大学医学部附属病院

# 組 織 図

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会

がん登録部会

緩和ケア部会

がん検診情報部会

がん地域連携部会

がん研究部会

## 【参加団体】

- ◆医師会
- ◆保健所
- ◆市町がん検診担当課
- ◆ホスピス・在宅診療所
- ◆がん診療拠点病院

# がん登録部会

【部会活動のメインテーマ】 網羅的で精度の高いがん登録を実施する。

〔28年度 活動目標〕

## 1. 肺がんの院内登録データを用いた現状分析

- 院内がん登録データから住所・進行度や治療内容等のベンチマークを作成し、自施設の登録状況の把握と豊能医療圏での肺がんの現状について比較・分析を行う。

## 2. 院内がん登録の精度管理

- 拠点病院間で情報共有を行い、精度の高い院内がん登録データを構築していく。

## 3. 子宮頸がんの再分析 ←がん検診情報部会からの要望

- 施設別・年齢別の来院経路を加味した報告を行う。

昨年度： 子宮頸がんの豊能医療圏拠点病院(8病院)の院内がん登録データを用いた現状分析を行い、『全国、大阪府と豊能医療圏の比較では、豊能医療圏が「がん検診による発見が他より低いことが分かったが、上皮内がんを含む早期発見割合に大きな差はなかった。』ことを報告。

# 緩和ケア部会

【部会活動のメインテーマ】 緩和ケアの普及を図る。

〔28年度 活動目標〕

1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化
  - 今年度より新たに参加いただいたホスピス・在宅診療所と緩和ケアに関する意見交換を行う。
2. 緩和ケア研修会の受講促進
  - 圏域内の各拠点病院の受講対象者数・定員について情報共有を行う。
3. 緩和ケアの普及促進
  - 拠点病院主催の緩和ケアに関する研修会の開催予定一覧データの作成により、周知を行う。
4. 患者及び家族が心の悩みや体験談を語り合う場の提供
  - がん拠点病院主催のがんサロンの開催情報を集約した一覧ポスターの作成により、周知を行う。

# がん検診情報部会

## 【部会活動のメインテーマ】

がんに関する情報の普及、がん検診の受診率向上に取り組む。

### 〔28年度 活動目標1〕

#### 1. がん教育の推進

- 各市町がん検診担当課から各市町教育委員会への働きかけを行い、児童生徒・教職員へのがん研修の場を増やしていく。
- 協議会ホームページへの「がん予防教育の取り組み」の掲載を検討する。

#### 2. がん予防のための普及啓発

- 豊能二次医療圏で早期がんの割合が低い、子宮頸がんの各市町の取り組みについて、情報共有を図る
- 協議会ホームページへの「子どもや障がい者向けのがん情報」の掲載を検討する。

#### 3. がん手術件数の定義の統一化

- がん手術件数のカウントについて厚生労働省に照会を行い、次回の現況報告や大阪府がん情報提供コーナーに掲載のデータを統一的な定義で提出する。

# がん検診情報部会

〔28年度 活動目標2〕

## 4. がん医療公開講座の開催

●と き：平成28年10月1日（土曜日） 14：00～16：30

●ところ：千里ライフサイエンスセンター ライフホール（420席）

●全体テーマ： 「検診の大切さを知る～今の幸せをかみしめて～」

14：05～15：05 特別講演 タレント 原 千晶氏  
「大切にしたい自分の体、今私が伝えたいこと」

15：15～16：30 パネルディスカッション  
コーディネーター 市立池田病院 太田博文先生（部会リーダー）

### 〔テーマ〕

- ・「豊能医療圏のがん罹患・死亡状況」
- ・「がん検診の種類・対象・方法・場所・効果」
- ・「早期発見の重要性」
- ・「わたしを守るのはわたし ～がん検診へ行こう～」

# がん地域連携部会

- 【部会活動のメインテーマ】 地域連携によるがん医療の充実を図る。

## 〔28年度 活動目標〕

### 1. セカンドオピニオンチーム

- ▶ リーフレット「セカンドオピニオンについて～各病院の申込み等状況一覧」の活用について評価を行う。
- セカンドオピニオンを受けた患者に対してアンケートを実施する。

### 2. クリティカルパスチーム

- ▶ 今年度作成した運用整理シートをもとに、パスの効果的な運用等を議論する。

### 3. リハビリテーションチーム

- ▶ がん患者リハビリテーションの重要性の認識を高める啓蒙活動
- 患者・医療スタッフ向けのリーフレット作成を中期的な目標とし、今年度は作成に向けた情報収集を行う。

# がん研究部会

## (1) 小児がん対策

### ● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し小児がん患者の診療に取り組んでいる。また、小児がん拠点病院（大阪市立総合医療センターと大阪府立母子保健総合医療センター）と連携し医師、看護師等多職種  
の教育を行っている。更に、オンコロジーセンター内にAYA世代相談室を設置した。

## (2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

### ● 骨髄移植および臍帯血移植の現状

造血幹細胞移植の件数は年間平均27件（直近3年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応している。特に骨髄バンクからの移植が多く6割を占めている。

## (3) がん研究の推進

### ● 多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

### ● 臨床研究中核病院

昨年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

## (4) 高度先進医療の推進

### ● 以下の先進医療を現在実施中である

- 1.腹腔鏡下広汎子宮全摘術（先進医療A）
- 2.パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療B）
- 3.術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法（先進医療B）
- 4.周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療B）
- 5.11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断（先進医療B）
- 6.内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術（先進医療B）

## (5) 人材育成

### ● がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）

17コースで76名が在学中（薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等）